

6期23年みなさんに支えられて

市内の農家に生まれた私は、命と健康を支える農産物を作り出している誇りを胸に、農業や環境を大切に政治、勤労者や業者はもちろんすべての市民が安心して暮らしていける社会をつくらうと、市議会議員をめざしました。それから6期23年、「市民の利益第一」を貫くなかで、ときには大きな壁にぶち当たるときもありましたが、市民のみなさんから力をいただき、切実な願いを一つ一つ実現する仕事に取り組んできました。

いま、自公政権がすすめていることは、結局は庶民の暮らしを犠牲にして、大企業をぬくぬくと太らせる政治であることがはっきりしてきました。4月に予定されている消費税増税はその最たるものです。市民のくらしに寄り添うあたたい市政がいまほど求められているときはありません。新たな闘志を燃やして、全力をつくす決意です。



市議会議員

北島元雄

日本共産党

活動地域

三郷・宮郷・名和・豊受・赤堀・東

★略歴 ●1951年、波志江町に生まれる。●県立勢多農林高校卒業。●波志江町1丁目子供会育成会会長、三郷小PTA会長、市PTA連合会会長などを歴任。★現在 ■市議会議員6期目、経済市民委員。■日本共産党地区副委員長。■JA佐波伊勢崎米麦部会三郷支部長。■趣味/手打ちうどんづくり(もちろん自家製小麦)⇒食べるのはもっと好き。

<住所>波志江町3626 電話・FAX 24-8410 携帯 090 4065 2120
メール kitashima@jcp-isesaki.net

力を合わせて

この4年間の活動でかちとった主な成果をご覧ください。

市政を動かしてきました

国保税引き下げ

のべ5千人の署名が大きな力に

「高すぎて払えない」と悲鳴が上がっていた国保税。2012年度は1世帯平均1万5千円の引き下げが実現しました。日本共産党市議団は議会でもくりかえし引き下げを求めてきましたが、当初の市の答弁は「安定した財政運営のため：引き下げはしない」と冷たいものでした。しかし、10年、11年にのべ5千人の引き下げ署名が提出されるなか、市の対応も変わり、ようやく引き下げ実現にこぎつけることが出来ました。

住宅リフォーム助成制度

市内業者の仕事起こしに大きな役割

地域経済の活性化に大きな効果が期待できる「住宅リフォーム助成制度」。日本共産党市議団は数年前から実現を求め、議会でも取り上げるとともに、業者団体にも共同の運動を呼びかけました。ある団体からは「ほんとうは私たちが率先してやらなければならないこと」と感謝の言葉も寄せられました。2012年度に実現したこの制度は、補助率30%(上限20万円)と県内でも高い水準となり、業者からも市民からも大歓迎され、当初「1年限り」とされていたものが翌年度も継続されました。



●日本共産党伊勢崎市議団の活動と政策をお伝えします。

2014年2月号

伊勢崎民報

発行/日本共産党伊勢崎佐波地区委員会 北千木町2087 電話25-4854

小中校養護学校幼稚園にエアコン

取り付け工事は地元業者に

学校の教室へのエアコン設置は、当初、12年度に小中学校、13年度に養護学校・幼稚園という計画でした。日本共産党市議団は「養護学校や幼稚園が後回しはおかしい」と指摘し、12年度中にすべての学校・幼稚園へ設置するよう改善させました。

また、取り付け工事は地元業者に分割発注することも提案。教育委員会もこの提案を取り入れ、16億円の工事が市内の30社に発注されました。

下増田焼却場建設ストップ

前橋市政も変えた住民の力

伊勢崎に突き出たような形の場所(前橋市下増田町地内)への前橋市の焼却場建設計画が明らかになると、降灰などの被害が予想される地域の住民が素早く反対運動に立ち上がりました。北島市議も運動の先頭に立つとともに、反対する前橋市民や日本共産党前橋市議団とも連携して粘り強く活動を続けました。

こうした取り組みにより、計画を白紙撤回に追い込むことが出来ました。